



教育目標 やさしく・かしこく・たくましく

九中だより

令和4年11月15日

第7号

立川市立立川第九中学校 校長 三浦 光義

TEL 042-535-1415 Fax 042-534-6958

デジタル時代の文章力

副校長 堤 智一

「GIGAスクール構想」という言葉も新しいものではなく、今は教育DX(デジタルトランスフォーメーション)なんて言葉を見聞きするようになってきました。

そんな中、今の3年生が受検する都立高校の入学選抜において、今までは「手書き」が必須であった「自己PRカード」の作成が、「電子ファイルへの入力および印刷」つまり、パソコン等のデジタル機器でも可能になりました。

このように「手書きでも電子でも可」となっている今、中学生に求められる文章力とは一体どんなものなのか、今回は考えてみました。

私は数年前まで教科指導や学級担任、部活動の顧問などを行う「教員」でした。教員時代に生徒さんに言っていたことの一つに「60分で800字程度の文章が書ける文章力を身に付けよう」というものがありました。このくらいの文章力があれば、入試だけでなく中学校を卒業してからも困らないと考えたからです。

ここで皆さんに問います。あなたは60分で800字程度の文章を「紙に鉛筆で」、「パソコンで」両方できますか？

話は変わりますが、学校の成績はテストの点数だけでは決まらないことは、みんな知っています。「点数では計れない」部分も重要視しているからです。点数では計れない部分は、授業中の活動の様子であったり、提出するワークシートの内容であったりします。これは紙に鉛筆で書く従来からあるノートやプリント、ワークシートといったものへの記述と、クロムブックを利用したものとのがあるわけです。

「GIGAスクール構想」によって学校にICT機器がかつてない速度で導入されました。今後は導入されたこれらの機器を文房具のように活用して、生徒の皆さんが身に付ける資質・能力の3つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を高めていくことになります。

とても大事で基礎的な力の一つである文章力を、日頃から磨いていくようにしたいものです。学校での学習活動全体を通して多くの文章に触れ、たくさんの文章を書き、打ち込み、紙に鉛筆で書く(字を丁寧にきちんと書くということも含みます)だけでなく、デジタル機器で書く(打ち込む作業自体に多くの時間を取られすぎない)2つの力のどちらも高めていきましょう。

お知らせ

11月27日(日)に3年生で実施される「英語スピーキングテスト」について、試験会場が決定し、生徒にはプリントで伝えました。試験時間などの詳細が書かれた受験票は11月中旬に配布する予定です。各個人で会場に行くことになりますので、事前に御確認をお願いいたします。

後期生徒総会（10月21日）



各委員会の委員長が3年生から2年生に引き継がれました。行事での校歌斉唱の指揮者・伴奏者も2年生になりました。

小中連携あいさつ運動（10月24日）



今年も生徒会役員と生活委員会が中心となって若葉台小と連携して朝の挨拶運動を実施しました。

収穫祭（10月29日）



今年もたくさんの作物を収穫することができました。ただ一つ残念だったのは、丹精込めて作った作物をみんなで食べるができなかったこと。それでも、感謝の思いは変わりません。伝統の九中音頭を踊りました。

放課後自習教室・質問教室（11月8日～14日）



定期テスト前は「補充学習期間」として、朝（朝読書の時間）と放課後にテスト対策を実施しています。上の写真は放課後に行われる質問教室の様子です。生徒会も放課後に自習室を運営しています。九中はテストを頑張る皆さんを全力で応援しています。

11月後半の予定

15	火	期末テスト①英②理③技・家
16	水	期末テスト①国②社③音
17	木	期末テスト①数②保体③美 各種委員会
25	金	小中連携（九中訪問）
27	日	英語スピーキングテスト（3年）

12月前半の予定

2	金	3年三者面談始め 1・2年保護者会
8	木	3年三者面談終わり
14	水	各種委員会